

指導と評価の一体化を目指して 社会

学習指導要領の総則では、「授業の改善」（指導）と「評価の改善」（評価）を一体的に充実させていくことの重要性が示されています。学習評価によって、「児童生徒にどういった力が身に付いたか」を的確に捉えて、教師は指導の改善を図ること、児童生徒は自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが大切です。ここでは、1. 学習評価の進め方の手順、2. 指導と評価の計画の作成のポイントについて示します。

1 学習評価の進め方の手順

- (1) 単元の目標を作成
 - (2) 単元の評価規準を作成
 - (3) 「指導と評価の計画」を作成
- 授業を行う
- (4) 観点ごとに総括する

- 学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 児童の実態、前單元までの学習状況等を踏まえて作成する。

- 1、2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
- どのような評価資料（児童の反応やパフォーマンスなど）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

- 3に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。

- 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価（A、B、C）を行う。

2 指導と評価の計画の作成のポイント

指導と評価の一体化を実現するために、以下のことに留意して指導と評価を計画・実施していきます。

- ◎「指導・学習改善のための評価」と「記録に残す評価」の両面を実施すること。
- ◎「内容のまとめり（単元）」ごとに評価規準を設定すること。
（すべての単位時間で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を評価するわけではありません。）
- ◎社会科においては、学習指導要領に示された「内容のまとめり」は複数の内容に分かれ、その内容ごとに単元を構成するものがほとんどあり、単元ごとに単元構成や学習過程に沿った具体的な評価規準を作成していくこと。

3 内容のまとめり（単元）における評価のイメージ

	導入	第一次			第二次		まとめ	
時	1	2	3	4	5	6	7	8
知識・技能		●	●				●○	
思考・判断・表現	●				●○	●○		
主体的に学習に取り組む態度	●○			●				●○

●…評価を指導・学習改善に生かす場面 ○…評価を記録に残す場面

評価においては、内容のまとめりごとの評価規準を作成するとともに、児童の学習状況の評価する場面を計画し、記録に残していく場面を精選することが大切です。

特に「主体的に学習に取り組む態度」については、「粘り強い取り組み」を行おうとしている側面と、その中で「自らの学習を調整」しようとする側面を評価します。（実際の場面では一体的に見取ることもあります。）

それらは「主体的に問題解決しようとする態度」「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」として見取ることができます。

【評価例】第3学年 「事故や事件から人々の安全を守る」(全8時間)

<評価例> 単元名：事故や事件から人々の安全を守る (全8時間)

時	1	2	3	4	5	6	7	8
主体的に学習に取り組む態度	●○			●				●○

<p>【評価を記録に残す】 前単元を振り返り、本単元の予想や学習の計画を立てている「主体的に問題解決しようとする態度」を記録する。</p>	<p>【評価を指導改善・学習改善に生かす】 単元の後半に入り、新たな課題を見つけられない児童に助言したり、単元の終末に学習を整理できない児童に、これまでのノート（抽出児童）を提示したりして「主体的に問題解決しようとする態度」を育てる。</p>	<p>【記録に残す評価】 学習したことを基に自分に出来ることを考えている「よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度」を記録する。</p>
--	--	---

	ねらい	評価の観点			評価方法と評価規準
		知技	思判表	主体的	
1	前単元の学習を振り返り、事故や事件から地域の安全を守るための働きについて学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。		●	● ○	ノートの記述や発言内容から「安全を守るための関係機関や人々、その働きに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。(思判表) 発言の内容やノートの記述から「全単元の追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。(主体的)
4	地域の安全を守るための関係機関や地域の人々の働きについてまとめることができるようにする。			●	見学カードやノートの記述内容から「地域の事故や事件を防止する取り組みを調べ、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現しているか」を評価する。(主体的)
8	地域の安全を守るために、自分たちができることを考えようとする態度を養う。			● ○	発言内容やノートの記述内容から「連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連付けたりして学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。(思判表) 安全宣言の記述内容から「学習したことを考えようとしているか」を評価する。(主体的)

<指導改善（教師）・学習改善（児童生徒）の例>

- ◎ 教師による行動観察や児童による自己評価等を参考にしながら行う。
- ・ 導入時に、抽出した生徒の前時のまとめや振り返りを紹介し、課題解決の見通しをもつことや、自身の学習を振り返ることにつなげる。
- ・ 資料を修正、精選し、課題解決に結び付けやすいようにする。
- ・ 仲間との交流の時間を増やしたり、発問の言葉やタイミングを修正したりし、児童の学習意欲が継続したり、粘り強く、調整しながら学習を進められるようにしたりする。

<参考資料> 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校 社会）

【文部科学省国立教育政策研究所】